

2026年3月期 決算補足説明資料

2026年5月13日

スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

株式会社 昭和真空

証券コード：6384 東証スタンダード

2026年3月期決算概況 【2025年度】

2025年度 決算概況 (連結)

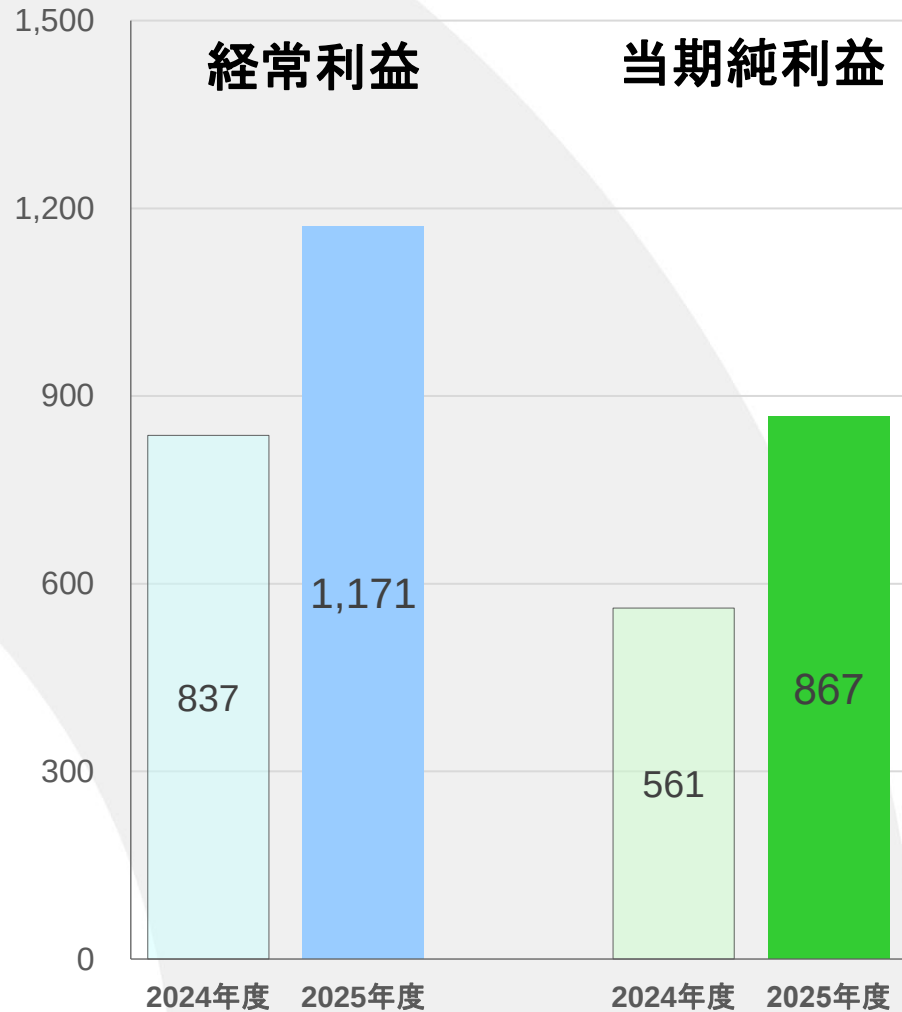
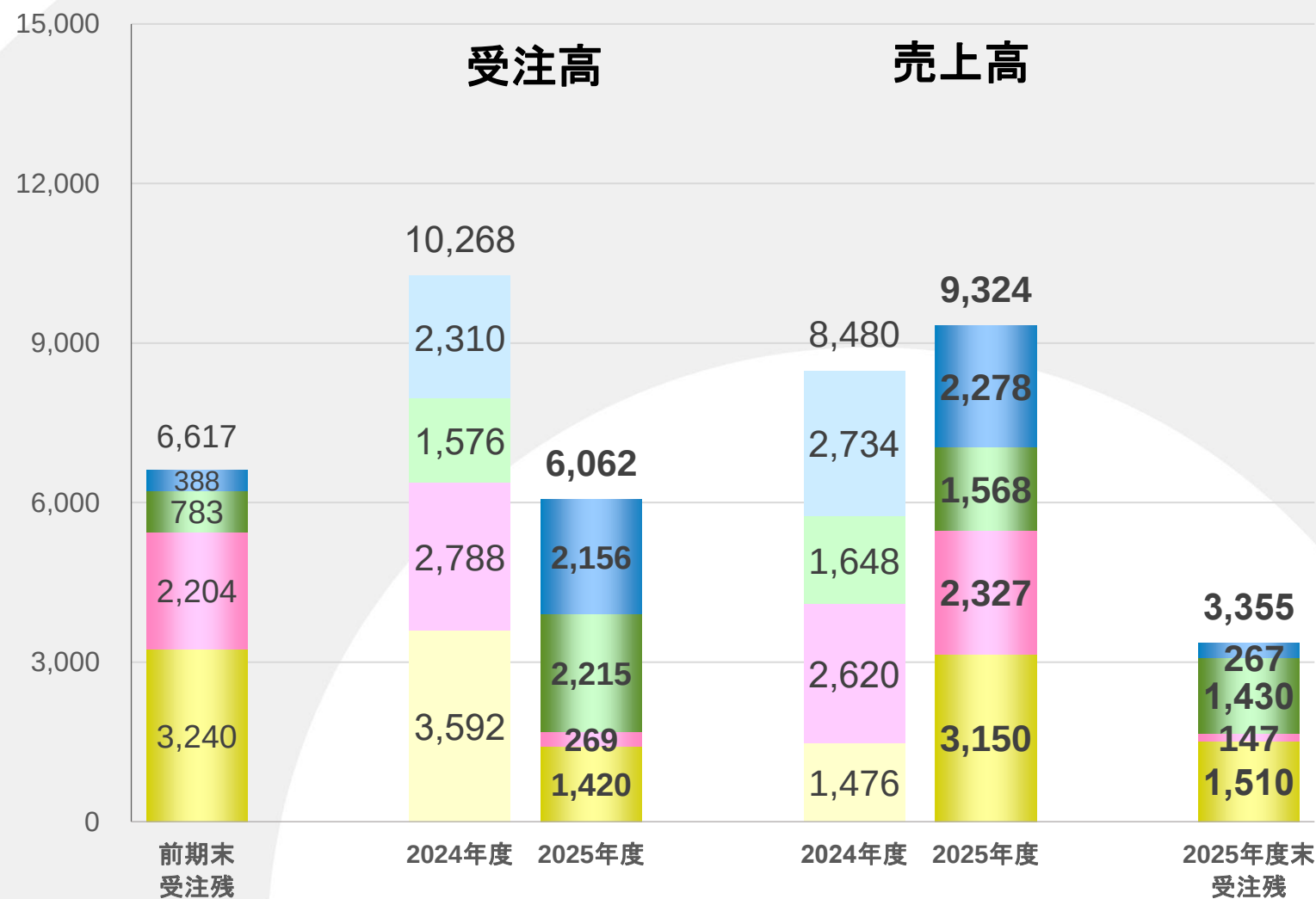
(百万円)	2024年度		2025年度			
	実 績		実 績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受 注 高	10,268	—	6,062	—	△4,205	△41.0%
売 上 高	8,480	100.0%	9,324	100.0%	844	10.0%
営 業 利 益	792	9.3%	1,112	11.9%	320	40.4%
経 常 利 益	837	9.9%	1,171	12.6%	334	39.9%
当 期 純 利 益	561	6.6%	867	9.3%	305	54.3%

2025年度の事業概況

受注・売上・利益（連結）

（単位：百万円）

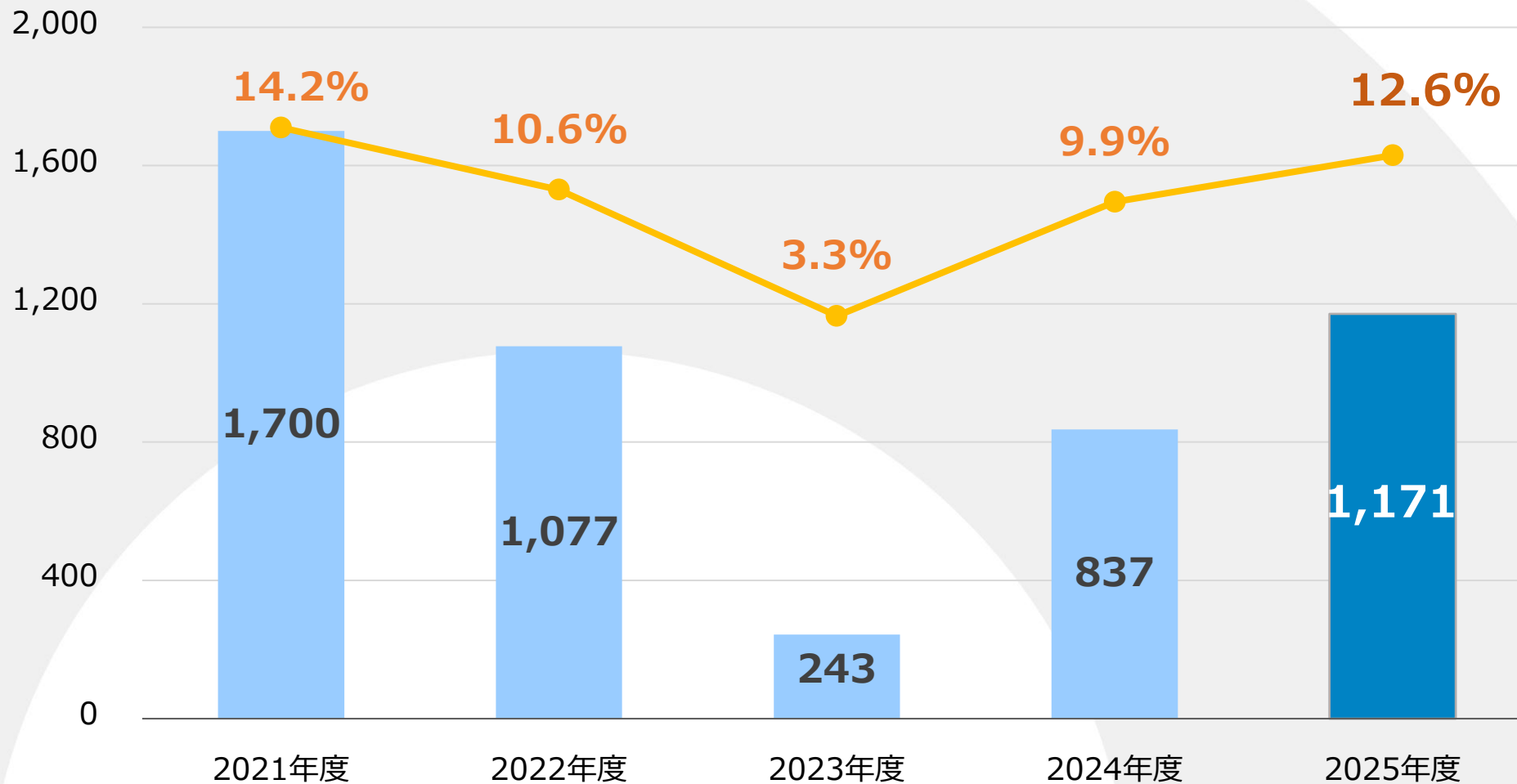
■ 水晶 ■ 光学 ■ 電子他 ■ サービス



経常利益の推移

(直近5年度、連結)

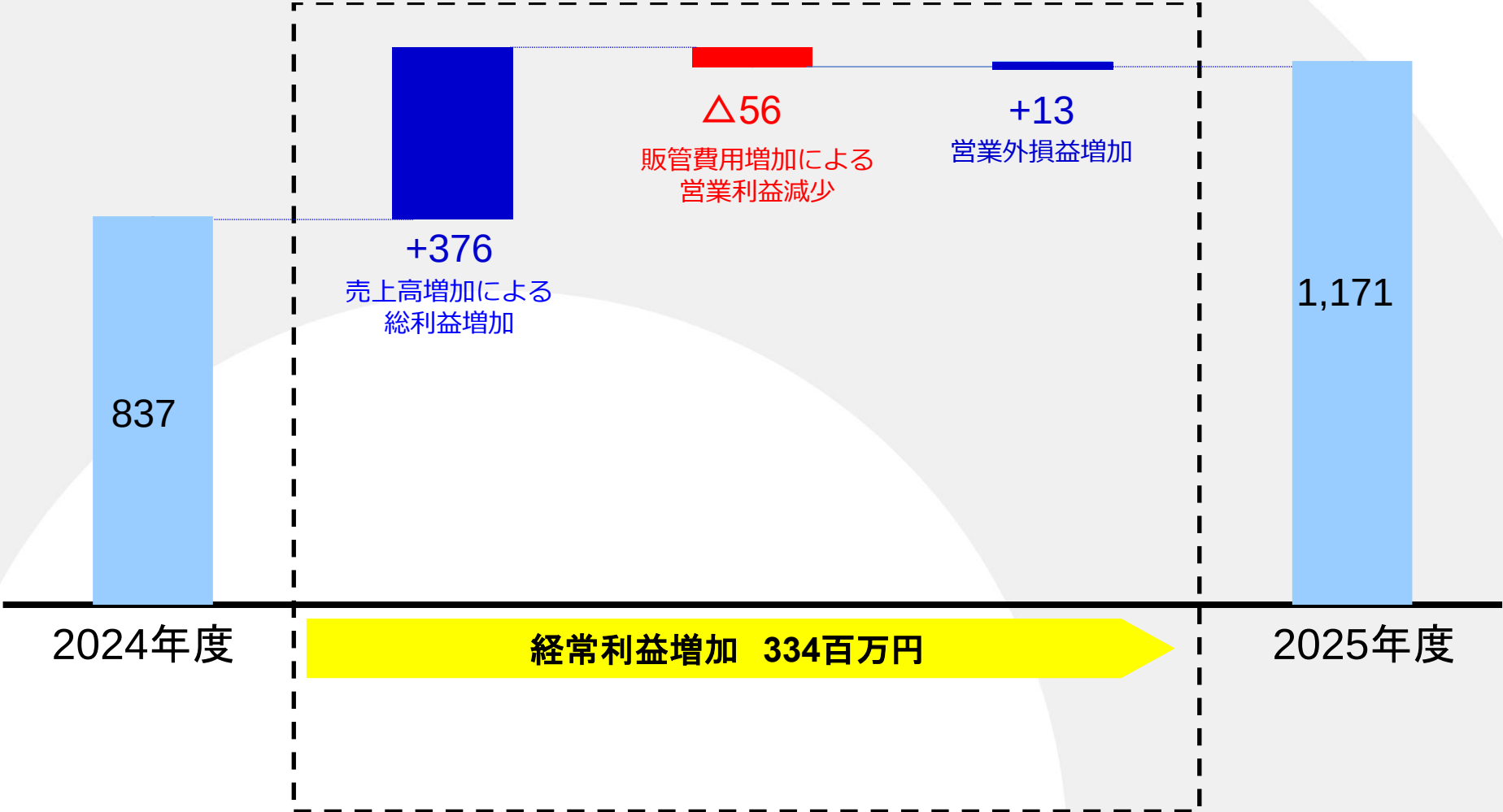
(単位：百万円)



売上高	11,964	10,127	7,463	8,480	9,324
-----	--------	--------	-------	-------	-------

経常利益の変動要因 (連結)

(単位：百万円)



貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)

	2024年度末	2025年度末	増減額	主な増減要因
資産合計	15,451	15,173	△277	
流動資産	11,725	11,341	△383	現金及び預金 1,471 売上債権 △979 原材料 △101 仕掛品 △548 未収還付消費税 △201
固定資産	3,726	3,831	105	投資その他の資産 99
負債合計	3,861	2,999	△861	
流動負債	2,910	2,589	△321	仕入債務 △448 1年内償還予定の社債 450 1年以内返済予定の長期借入金 100 未払法人税 △114 未払消費税 72 前受金 △383
固定負債	950	409	△540	社債 △450 長期借入金 △100
純資産合計	11,590	12,174	583	

借入依存度 3.6%

自己資本比率 80.2%

固定比率 31.5%

キャッシュ・フロー計算書 (連結)

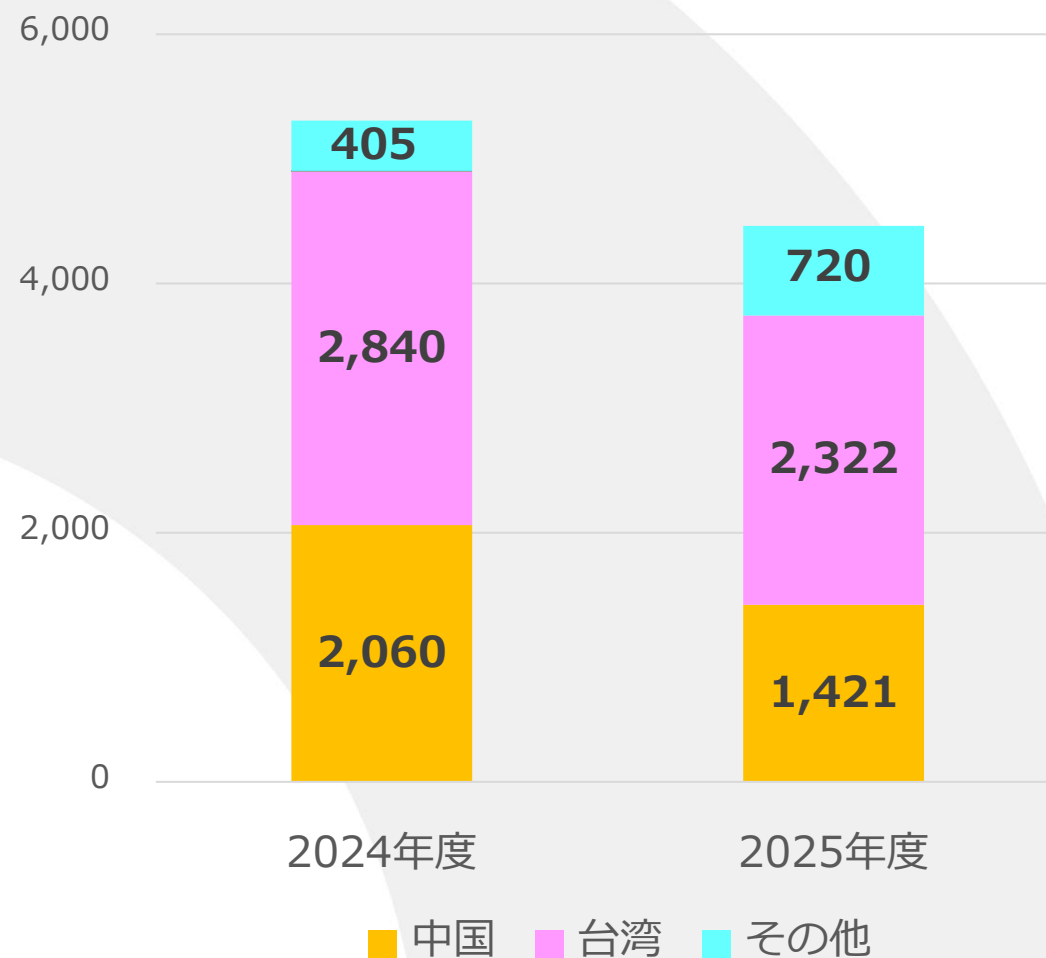
(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	178	2,052	税金等調整前当期純利益 1,171 減価償却費 252 売上債権の減少 968 棚卸資産の減少 652 仕入債務の減少 △472 前受金の減少 △383
投資活動によるキャッシュフロー	△332	△465	定期預金等増加 △246 有形固定資産の取得 △222
財務活動によるキャッシュフロー	△444	△443	配当金の支払 △436 ファイナンスリース債務返済 △7
現金及び現金同等物に係る換算差額	116	81	
現金及び現金同等物の増減額	△481	1,224	
現金及び現金同等物の期首残高	5,294	4,813	
現金及び現金同等物の期末残高	4,813	6,037	

輸出先国別売上高推移 (連結)

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度
台湾	2,840	2,322
中国	2,060	1,421
ベトナム	70	145
スイス	4	115
韓国	109	109
その他	221	349
合計	5,306	4,464
輸出割合	62.6%	47.9%



1. 受注高に関しては、電子デバイスメーカーの在庫調整が長期化した影響等で、増産設備への投資に対して慎重な姿勢が続き、水晶・光学業界は、総じて低調に推移。一方、新市場開拓において注力している航空宇宙関連市場からの受注を獲得した他、デバイスメーカーの動向把握に努め、サンプル作製依頼への対応や共同開発を積極的に実施することで、新規先を含む顧客からの受注を獲得。
2. 売上高に関しては、受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努め、水晶、光学業界向けを中心に着実に納品し、売上高を確保。
3. 期末にかけて生産量の増加を背景に操業度が向上。それにより固定費負担が軽減され、利益は業績予想に対して好転。

2027年3月期の見通し 【2026年度】

2026年度 連結業績予想

(百万円)	2025年度		2026年度 業績予想			
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
受 注 高	6,062	—	11,000	—	4,937	81.4%
売 上 高	9,324	100.0%	8,800	100%	△524	△5.6%
営 業 利 益	1,112	11.9%	803	9.1%	△309	△27.8%
経 常 利 益	1,171	12.6%	823	9.4%	△348	△29.8%
当 期 純 利 益	867	9.3%	560	6.4%	△307	△35.4%

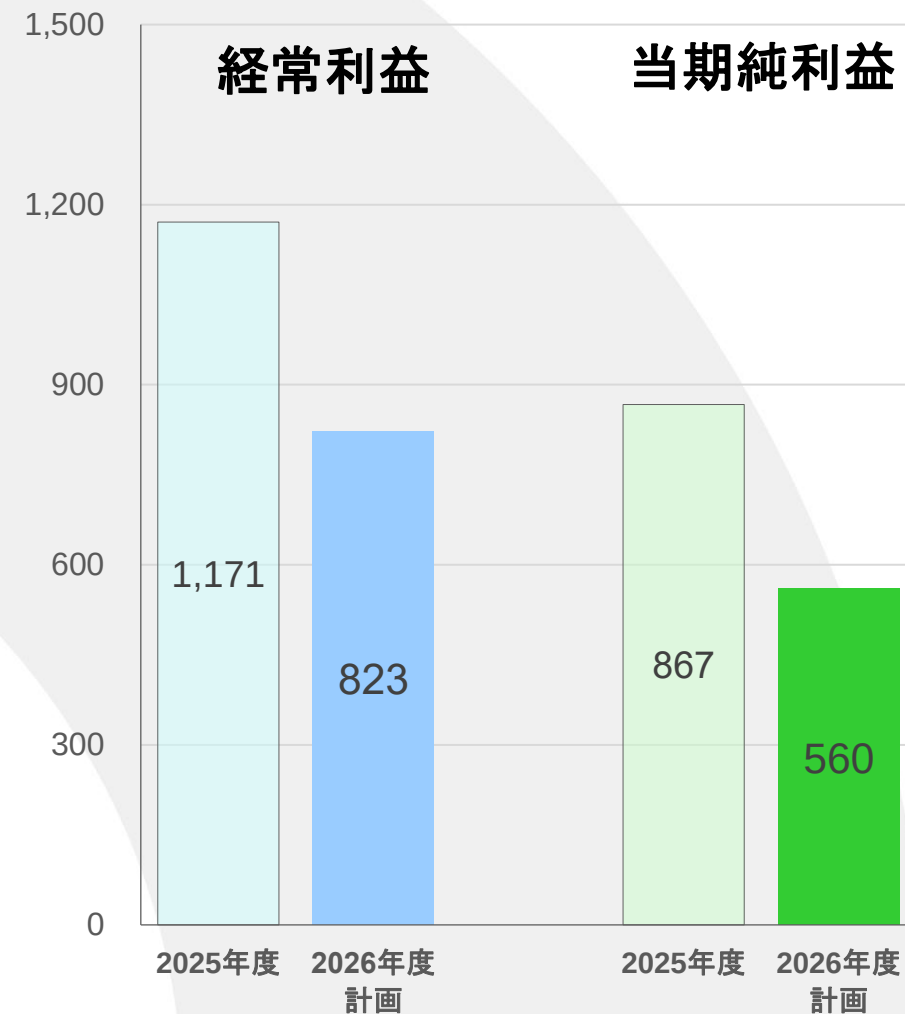
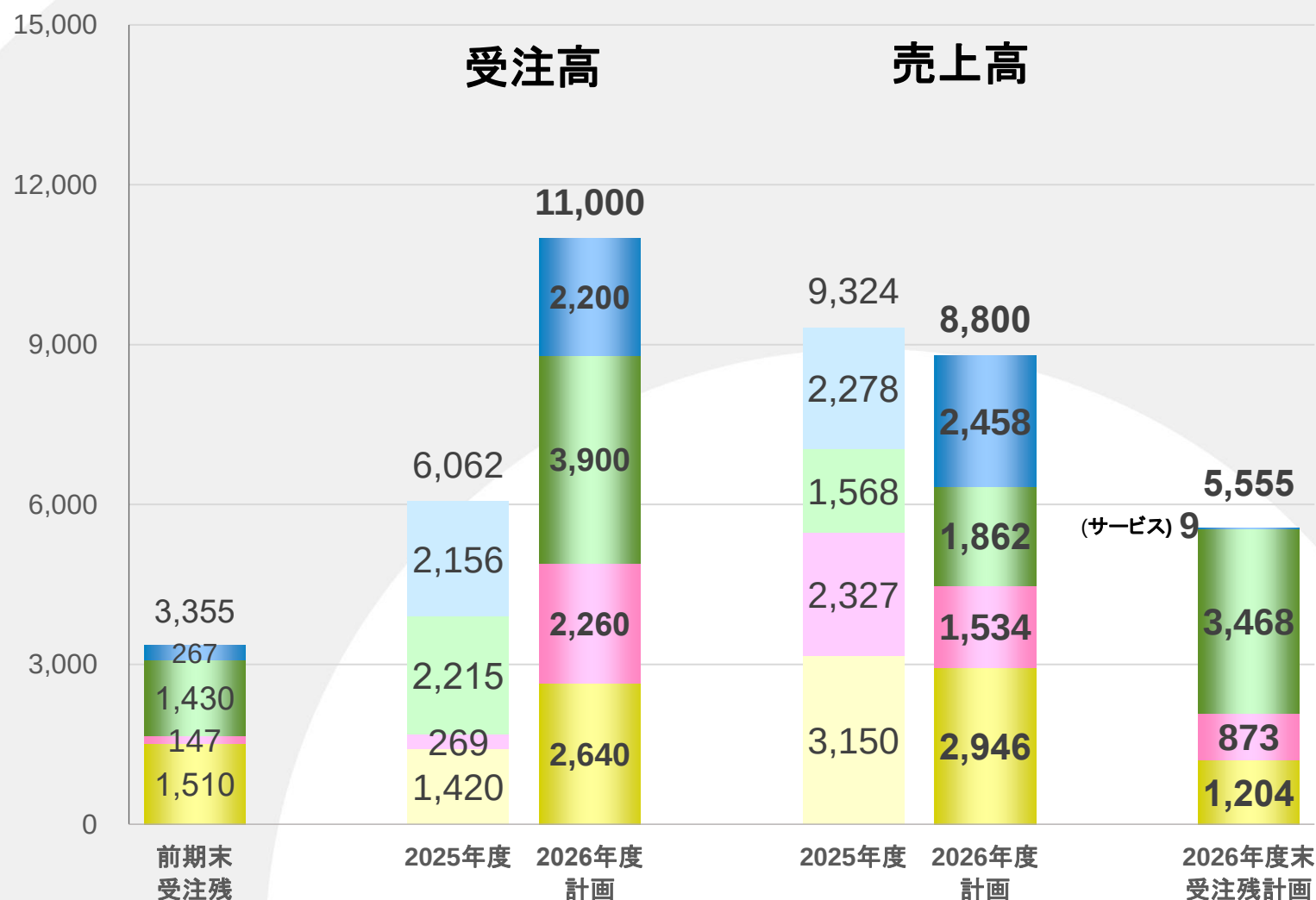
※ 実際の業績等は、今後の社会状況や経済状況の推移によっては大きく異なる可能性があります。

2026年度の事業概況

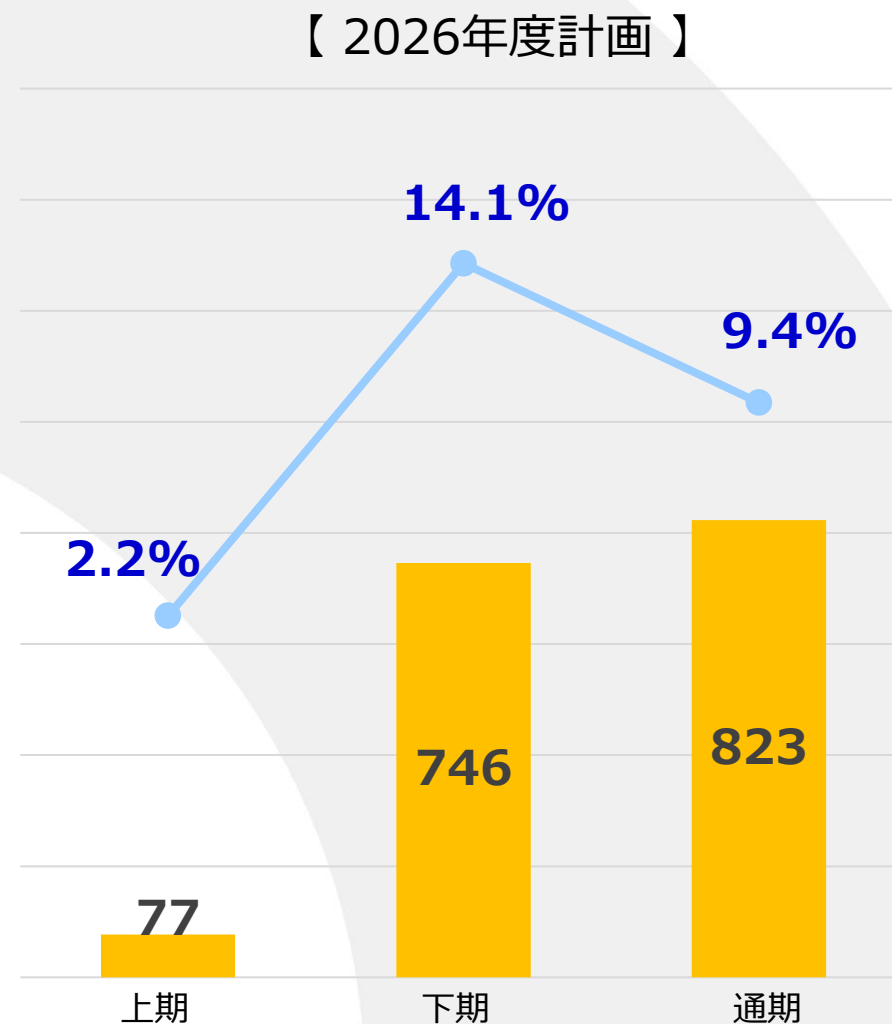
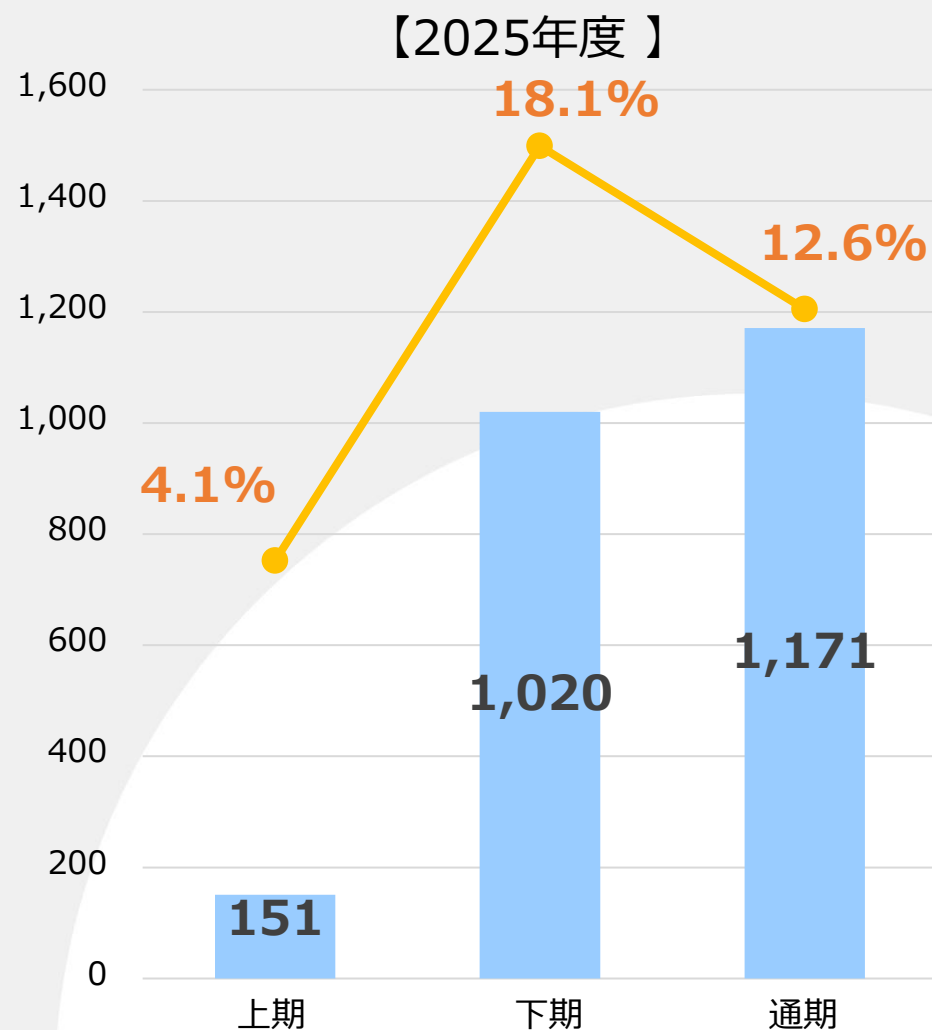
受注・売上・利益計画（連結）

（単位：百万円）

■ 水晶 ■ 光学 ■ 電子他 ■ サービス



（単位：百万円）



(単位:百万円)

	2025年度	2026年度計画
設備投資額	207	233
研究開発費	439	516
減価償却費	248	212

1. 市場別戦略の明確化と受注体制の高度化

- ① 市場・用途別に重点分野を再定義し、成長が見込めるニッチ市場への経営資源を配分
- ② 営業・設計・生産の連携を強化し、案件初期段階からの受注支援体制を構築
- ③ 依頼実験体制の強化

2. 次期戦略装置の開発推進

- ① 顧客ニーズ、市場成長性を踏まえた次期戦略装置開発と市場投入
- ② 顧客との共同開発の成果実現

3. 品質を基軸とした設計生産体制の強化

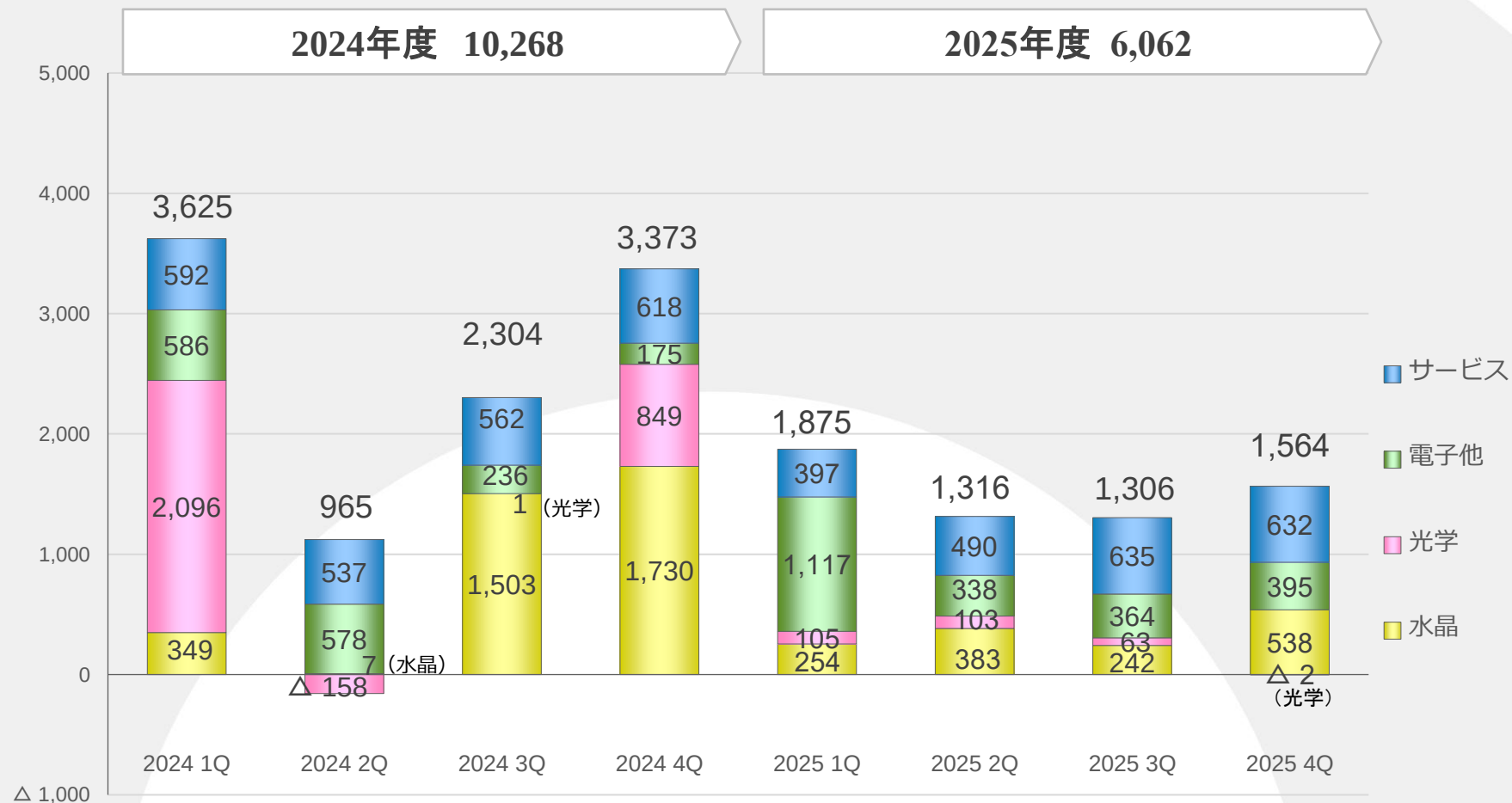
- ① 品質最優先の価値観を共有し、納期遵守と両立する組織風土を醸成
- ② 設計から生産までのプロセスの効率化を推進

4. 人の集まる魅力ある会社づくりと次世代人材育成

- ① 働きがいと成長を両立するため、人事制度や教育体系の見直しや環境整備を推進
- ② 採用力の強化と定着率向上を通じ、持続的な事業成長を支える基盤を構築

【ご参考】受注高業界別推移 (四半期、連結)

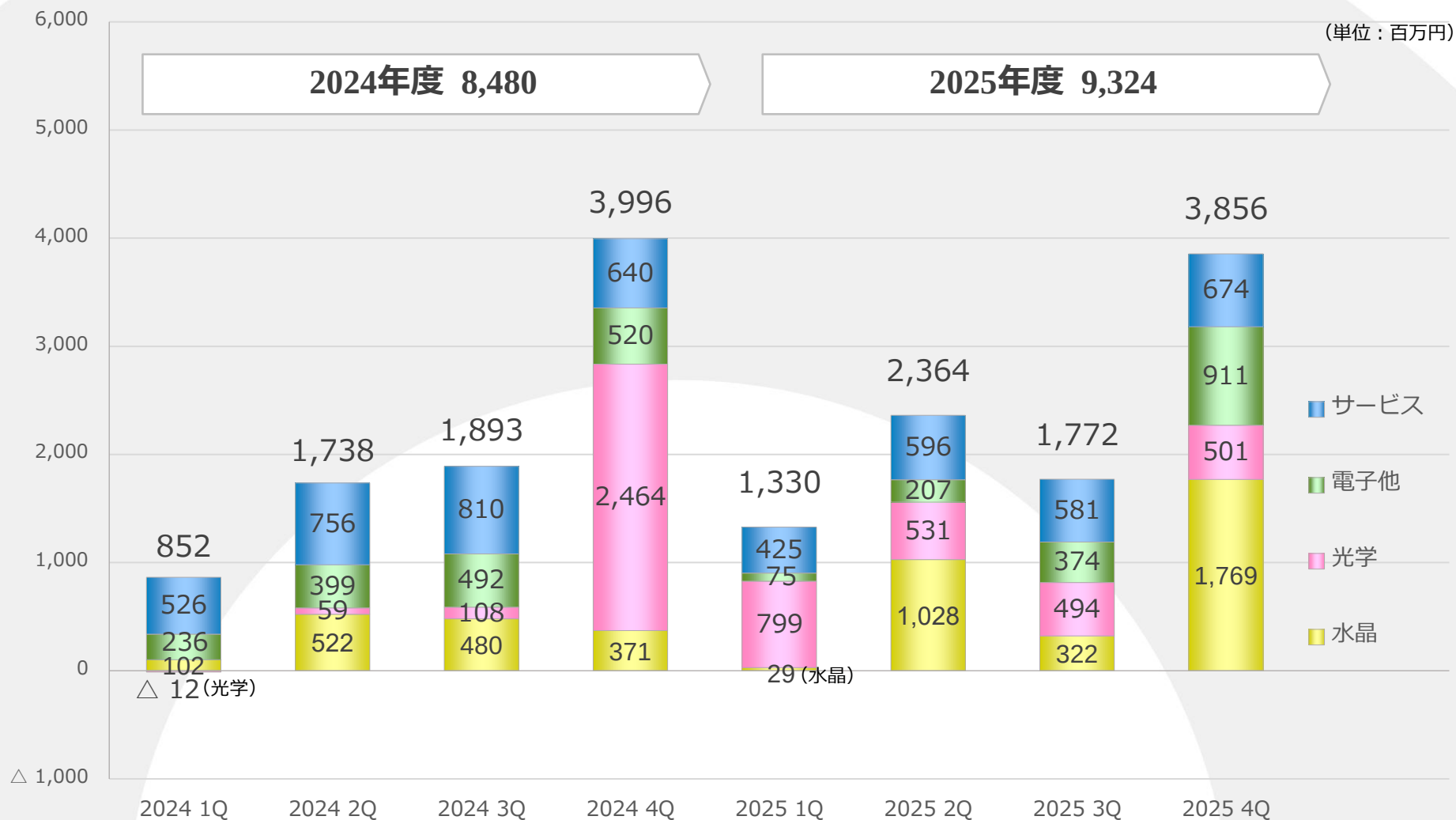
(単位：百万円)



内訳	2024 通期	2025 通期
サービス	2,310	2,156
電子他	1,576	2,215
光学	2,788	269
水晶	3,592	1,420
計	10,268	6,062

2024年度2Q光学業界の受注高がマイナスになっている理由は、海外子会社との内部取引に関する連結調整による。

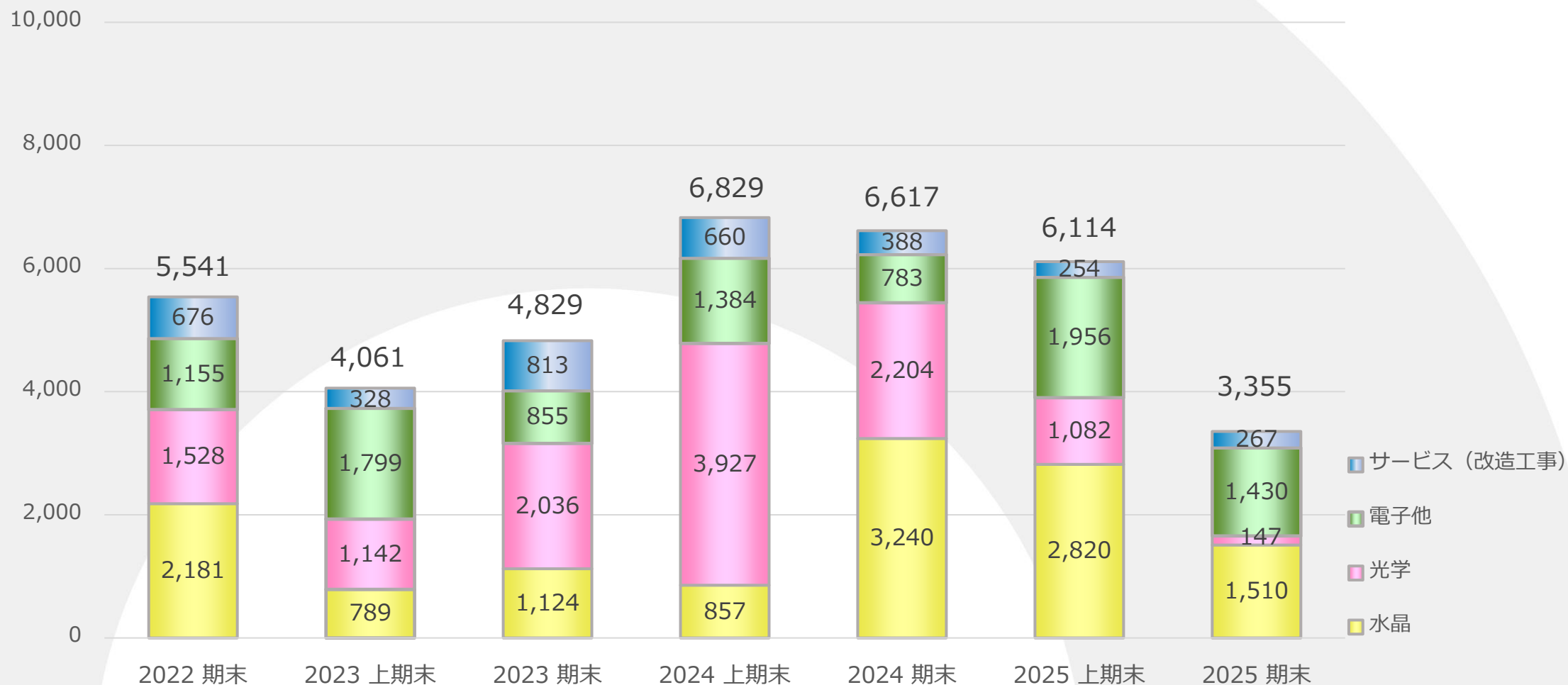
【ご参考】売上高業界別推移 (四半期、連結)



2024年度1Q光学業界の売上高がマイナスになっている理由は、海外子会社との内部取引に関する連結調整による。

【ご参考】受注残業界別推移 (連結)

(単位：百万円)

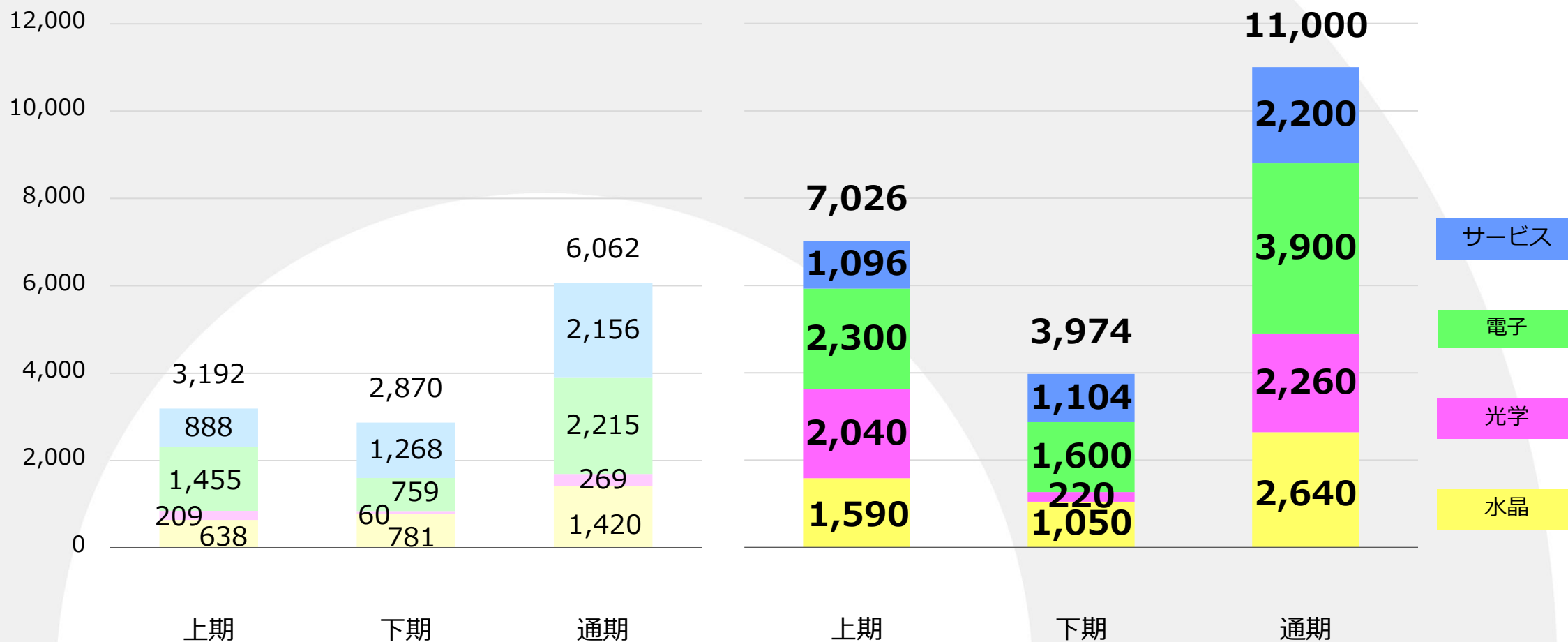


【ご参考】2026年度 受注計画^{〔連結〕}

(単位：百万円)

【 2025年度 】

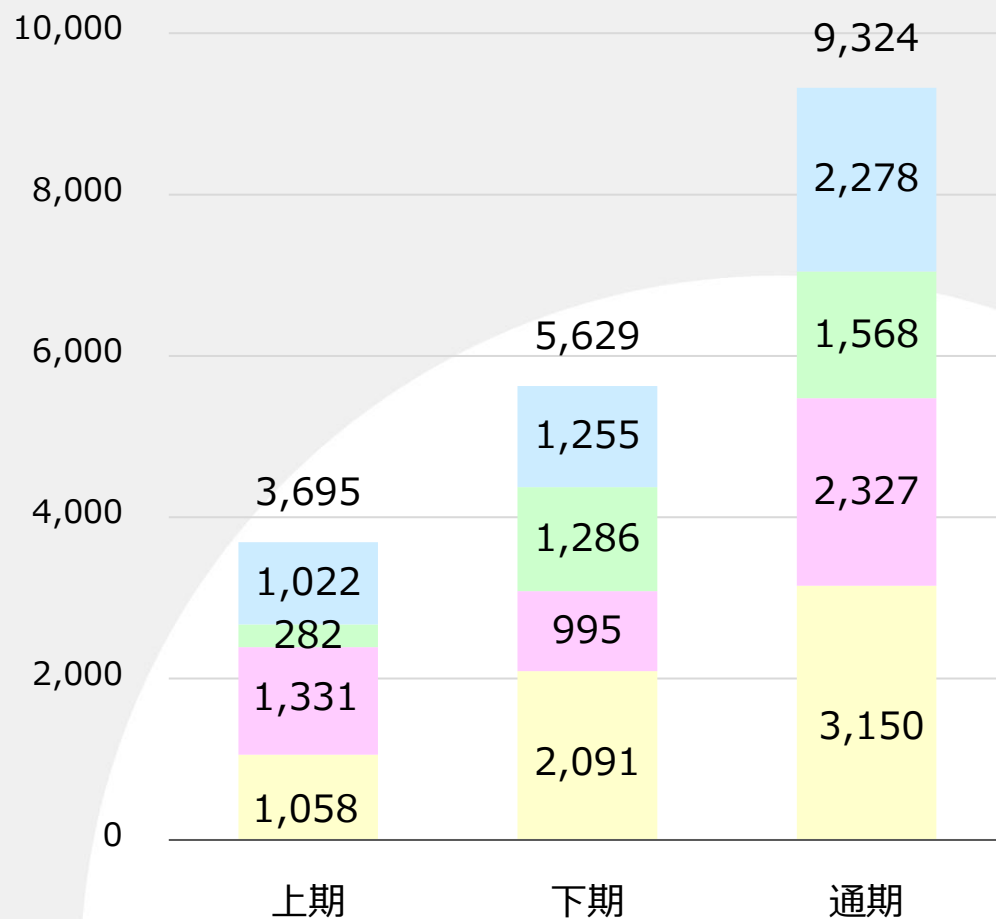
【 2026年度計画 】



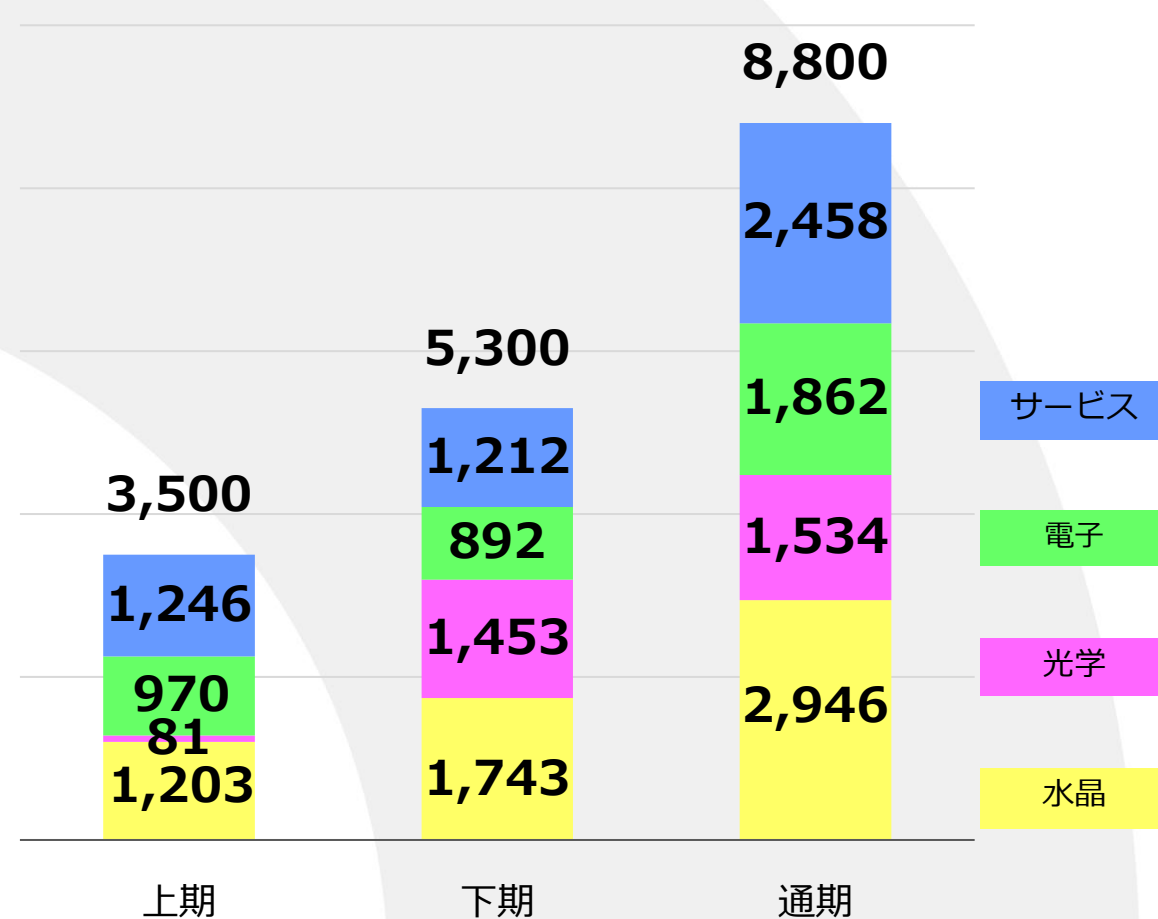
【ご参考】2026年度 売上計画^{〔連結〕}

(単位：百万円)

【 2025年度 】



【 2026年度計画 】



《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。



株式会社 昭和真空
SHOWA SHINKU CO., LTD.